次世代を担う若き茶商と茶生産農家のパワーを結集して、藤枝茶の良さを全世界に売り込みます！

TEA SEVEN（ティーセブン）協同組合

小野製茶㈱・㈱一言・藤栄製茶㈱・㈱松田商店・熊切商店・マツバ製茶㈱の藤枝市内の茶商 6 社と、瀬戸谷地区で長く有機茶の生産を行っている㈲人と農自然をつなぐ会の 7 社が集まり 2018 年 11 月に協同組合を設立。JAPAN ブランドに認定され台湾への販路を開拓。現在は大正大学と共に有機和紅茶を商品化し、首都圏などで販売している。

組合設立までのいきさつ

最初は台湾で藤枝茶の販路を開拓するために組合を設立しました。おんぱくのプログラムで大慶寺にて闘茶会を開いた際に、市の担当者から台湾の事業の情報提供があり、のちの TEA7 のメンバーが手を挙げました。中小企業庁の JAPAN ブランド育成支援事業に応募する際に、どのような組織で申請するべきかを検討していたところ、エフドア村松コーディネーターより「組合」という選択肢があることを教えてもらいました。2018 年 11 月に「TEA SEVEN 協同組合」を設立し、台湾の展示会に参加して「藤枝かおり」の PR と販売を行いました。

組合を設立する上で大変だったこと

設立時の一番の課題はまさに販路開拓でした。耕作放棄地が増え、高齢化が進み生産農家が減る一方という藤枝市の現状がありました。何とかして販路を開拓し商品の出口を作りたいということは、皆に共通した思いでした。コロナの影響で実際の取引は中断していますが、JAPAN ブランドの補助金を活動資金として、台湾の商社とのつながりが作れたことは事業を続けていく上での弾みになっています。

組合を設立してよかったと感じるとき

他に類を見ない初めての取り組みであり、茶商同士の新たな連携（横のつながり）ができて活動に幅が広がりました。生産者ともつながることができ、お茶について今まで知らなかったこともいろいろ教えてもらいました。台湾からお客さんを迎え交流しながら商談を行ったこともありました。その後「藤枝かおり」はシンガポールの TV ショッピングで人気商品になりました。また今は国内市場にも目を向けて、エフドアの紹介で大正大学地域構想研究所と「有機和紅茶」の共同商品開発を行いました。2020 年 4 月の Zoom 会議に始まり、検討を重ねて 11 月には販売を開始することができました。今後は売上をもっと伸ばせるよう工夫しながら、地域活性化や生産農家の育成の原動力になれるような活動をしていきたいと思っています。

これからエフドアを利用する人に

設立時のサポートに始まり、JAPAN ブランドの補助金申請、新商品開発などその時々の状況に合わせていろいろな情報を提供してもらいました。いい話ばかりではなく時には厳しいことも言われましたが、その結果たくさんのアイデアが生まれました。また行政や市内の事業者とのつながりもでき、商談が行える間柄に発展しました。常に親身になって付き合ってくれるので、悩みがあればすぐに話に行ってください。

Information

TEA SEVEN 協同組合

所在地：藤枝市茶町1丁目1-11　電話番号：054-641-0054
FB ページ：
https://www.facebook.com/TEA-SEVEN-193547631505699